

自転車の迷惑走行対策について

1 自転車事故の状況について

<宮城県内の交通事故発生件数>

	20年	21年	22年	23年	24年
宮城県	10,947	10,660	10,420	9,899	10,409
うち仙台市	5,508	5,288	4,990	4,864	5,003
構成比	50.3%	49.6%	47.9%	49.1%	48.1%

(本市交通事故統計より)

<宮城県内の自転車事故発生件数>

	20年	21年	22年	23年	24年
宮城県	1,829	1,666	1,705	1,646	1,434
うち仙台市	1,180	1,027	1,083	1,049	915
構成比	64.5%	61.6%	63.5%	63.7%	63.8%

(本市交通事故統計より)

<宮城県内の自転車事故発生件数（平成24年中）>

	宮城県	うち仙台市					
			青葉	宮城野	若林	太白	泉
件数	1,434	915	317	151	146	182	119
構成比	100%	63.8%	22.1%	10.5%	10.2%	12.7%	8.3%

(県警資料より)

平成24年の宮城県内の交通事故発生件数は、前年度より増加していますが、自転車事故発生件数は減少しています。

仙台市内の状況について、交通事故は県内での発生件数の約5割程度を占めており、自転車事故についても、県内の約6割以上の事故が本市で発生しています。区別では青葉区が最も多く、次いで太白区、宮城野区の順となっています。

<宮城県内の自転車事故による死傷者数>

		20年	21年	22年	23年	24年
宮城県	死者数	8	12	9	12	4
	負傷者数	1,834	1,672	1,719	1,658	1,445
うち仙台市	死者数	2	6	2	3	2
	負傷者数	1,188	1,033	1,097	1,063	923

(本市交通事故統計より)

<宮城県内の自転車事故による死傷者の違反別区分（平成24年中）>

	一時 不停止	右側 通行等	徐行 違反	信号 無視	交差点 安全進行	安全運転 義務違反	他の 違反	違反 なし	計
死傷者数	26	37	22	13	45	517	18	771	1,449
構成比	1.8%	2.6%	1.5%	0.9%	3.1%	35.7%	1.2%	53.2%	100%

(県警資料より)

県内の自転車事故による死傷者数について、約半数（1,449人中678人）に、安全不確認や右側通行など自転車乗用中の違反が認められました。

<宮城県内の自転車事故による死傷者の年齢区分（平成24年中）>

	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	計
死者数				1	1	2		4
構成比				25.0%	25.0%	50.0%		100%
負傷者数	517	268	173	138	114	104	131	1,445
構成比	35.8%	18.5%	12.0%	9.6%	7.9%	7.2%	9.1%	100%

（県警資料より）

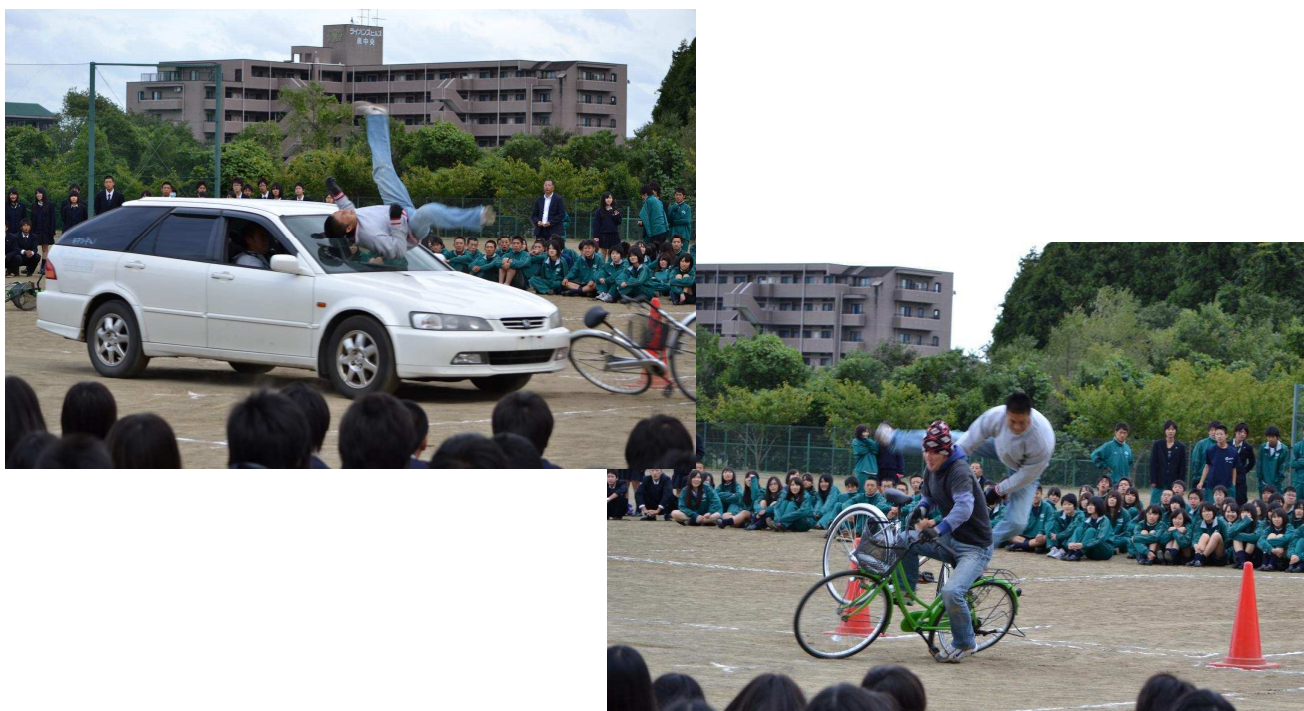
<宮城県内の自転車事故による死傷者の学職別区分（平成24年中）>

	未就学	小学生	中学生	高校生	高齢者	全体
死者数					1	4
構成比					25.0%	100%
負傷者数	13	67	94	261	169	1,445
構成比	0.9%	4.6%	6.5%	18.1%	11.7%	100%

（県警資料より）

また、死傷者の年齢や学職別に見てみると、20代以下の割合が半数以上と高く、特に高校生が高い割合を示しています。

2 「スクアード・ストレイト」方式による交通安全教室の様子



3 その他

宮城県警察において「自転車安全利用指導員」を任命し、県内主要交差点での助言・啓発活動を実施している。